

別紙2 屋外空間等計画要領

1. 外構施設の整備

外構施設の整備内容は、次のとおりである。

■外構施設の整備	
共通事項	<ul style="list-style-type: none">・ユニバーサルデザインに配慮すること。・緑化については、倉敷市緑の基本計画及び倉敷市自然環境保全条例に基づき行うこと。・植樹の際は、維持管理が容易な樹種とし、市の敷地外への影響に配慮すること。・照明設備については、歩行者の安全を考慮し設置すること。・舗装の種類の選定にあたっては、アメニティ、景観等への配慮、排水負担の軽減等を考慮すること。・メンテナンスしやすく、ランニングコストに配慮した計画とすること。・本事業における外構施設整備に伴い既存水路及び橋梁の改修・修繕等が必要となる場合には、適宜再整備等を行うこと。・散水設備、雨水排水設備は外構施設にあわせて、整備すること。
動線計画	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none">・歩車分離とし、歩行者の安全に配慮すること。 <p>【一般車両動線】</p> <ul style="list-style-type: none">・既存建物北側出入口前のロータリーは、新棟の建設予定地となるため、ロータリーを東側メイン出入口前のスペースに移設すること。・東側メイン出入口前ロータリーは、既存棟下部に一般乗用車が寄り付けるようにすること。・一般車両は、敷地東側の一文字樋の輪線と敷地北側の古新田東西線からのアクセスとする。 <p>【大型バス車両動線】</p> <ul style="list-style-type: none">・新棟北側に大型バス用ロータリーを設け、団体での来館者の乗降と大型バス用駐車場への車両の行き来が円滑に行えるように配慮すること。・大型バス車両は、敷地東側の一文字樋の輪線と敷地北側の古新田東西線からのアクセスとする。 <p>【搬出入車両・メンテナンス車両動線】</p> <ul style="list-style-type: none">・北側サブ出入口までのアプローチは、歩行者の利用を主としつつ、搬出入車両やメンテナンス車両の通行が可能な設えとすること。・新棟や既存棟北側サブ出入口付近まで、搬出入車両やメンテナンス車両が寄り付ける動線を確保すること。・搬出入車両・メンテナンス車両は、敷地東側の一文字樋の輪線と敷地北側の古新田東西線からのアクセスとする。 <p>【職員用車両動線】</p> <ul style="list-style-type: none">・職員用車両は、敷地西側の職員用駐車場への動線を確保すること。・職員用車両は、敷地東側の一文字樋の輪線と敷地北側の古新田東西線からのアクセスとする。

別紙2 屋外空間等計画要領

	<p>【歩行者動線】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来館者用駐車場から既存棟東側メイン出入口前と、大型バス用駐車場から既存棟北側サブ出入口までの安全かつ円滑なアプローチ動線を確保し、視覚誘導ブロック設置やサインの設置を行うこと。 ・別紙1内の外部動線計画についても参照すること。 ・来館者用駐車場から既存棟東側メイン出入口前と、大型バス用駐車場から既存棟北側サブ出入口までの歩行者動線上において、メイン車路と歩行者動線が交差する箇所については、横断歩道、ハンプ等の措置により歩行者の安全対策を図ること。 ・駐車場内には適宜歩行者用通路を設けるなど、安全対策に配慮した計画とすること。 ・各駐車場内においては、降車後安全に既存棟出入口にアクセスできる歩行者動線の確保に配慮した計画とすること。 ・各駐車場、歩行者動線も考慮した照明計画とすること。
渡り廊下	<ul style="list-style-type: none"> ・新棟と既存棟博物館エントランスを、つなぐ渡り廊下を設置する。 ・来館者の相互通行に支障のない廊下幅を確保すること。 ・渡り廊下両側には屋外広場を設け、来館者が屋外広場に自由に行き来できる設えとすること。 ・渡り廊下の照明は、安心して利用できるような十分な照度を確保すること。 ・点滅方式は自動点灯及び時間点滅が可能な方式とすること。 ・中央監視室より点灯操作可能な方式とすること。
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・車いす利用者や妊産婦等、歩行が困難な人が利用できる車椅子利用者用駐車施設を東側メイン出入口付近に4台以上設置すること。 ・バスを利用して来場する団体利用者の受け入れ態勢を拡充するため、北側大型バス駐車場を3台分以上拡張すること。 ・新設する車室について、区画線はダブルラインとすること。 ・車椅子利用者用駐車施設は、意匠性に配慮し、周辺景観に溶け込むものとする。 ・車椅子利用者用駐車施設から既存棟東側出入口まで雨天時も含め快適かつ安全に移動できるよう努める。 ・車止め、駐車場表示、案内板等を適宜設置すること。 ・駐車場、各施設への動線上には照明を設けること。 ・車椅子利用者用駐車施設の照明は、安心して利用できるような十分な照度を確保すること。 ・新設する駐車場には照度基準に適合するように適切な外灯を設置すること。 ・外灯設置箇所には予備配管を見込むこと。 ・点滅方式は自動点灯及び時間点滅が可能な照明制御盤を設置すること。予備回路を見込むこと。 ・中央監視室より点灯操作可能な方式とすること。 ・予備配管を見込むこと。 ・不要な配管配線、機器等は撤去すること。
駐輪場	<ul style="list-style-type: none"> ・既存棟北側駐輪場の上屋、腰壁、コンクリート基礎等を対象として解体すること。 ・不要な配管配線、機器等は撤去すること。
屋外広場	<ul style="list-style-type: none"> ・市民学習センター、埋蔵文化財センター、新自然史博物館を結ぶ館

別紙2 屋外空間等計画要領

	<p>外敷地部分を団体客の待機スペース等として活用できるように整備すること。なお、屋外屋根等の建築物は必須としない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新棟と既存棟博物館エントランスをつなぐ渡り廊下の両側は、意匠性に配慮したフェンス等を設置し、フェンスで囲われたスペースは博物館の屋外広場として芝生やゴムチップ舗装等にて整備すること。 ・渡り廊下両側の屋外広場には高梁川流域の石（2 m²×10 か所程度）を展示することとし、高梁川河原から石採取、加工、本敷地までの運搬、設置は本工事とする。設置位置については展示工事業者と協議すること。 ・誰もが過ごしやすいよう日除け、ベンチ等を設けること。 ・必要箇所に照明、電源盤を設置すること。 ・点滅方式は自動点灯及び時間点滅が可能な方式とすること。 ・中央監視室より点灯操作可能な方式とすること。 ・予備配管を見込むこと。 ・不要な配管配線、機器等は撤去すること。
給排水衛生設備	<ul style="list-style-type: none"> ・既設と接続する配管は、不等沈下対策を行うこと。 ・地中管路には、適切な箇所にバルブや柵を設けることとし、蓋は周囲の意匠に配慮すること。また、車両通行部分は、耐荷重仕様とすること。
雨水貯留施設 （雨水流出抑制施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・倉敷市総合浸水対策の推進に関する条例等に基づき、雨水流出抑制施設を設置すること。 ・雨水流出抑制施設の種類、位置、設置数、規模は提案によるが、メンテナンスしやすく、ランニングコストの低廉な施設とすること。 ・雨水貯留の算定範囲面積は、新棟建築面積と舗装新設・改修面積（緑地部分を透水性のない仕上げに変更した部分も含む）とする。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・既存棟東側メイン出入口廻り、北側サブ出入口廻り、市民学習センター、埋蔵文化財センター、新自然史博物館を結ぶ館外敷地部分について、浮き等が見られる既存舗装材は適切に改修を行い、歩行者等の円滑な移動が可能にすること。